

平成25年度 杭瀬川若森築堤工事

発注者：国土交通省 中部地方整備局
木曾川上流河川事務所
受注者：株式会社 相岡組

若手技術者紹介



入社3年目



現場での作業風景

現場代理人

中島 佑太（昭和60年11月生 29歳）

2012年に相岡組入社以来、護岸工事・河道整備工事・河川維持工事と国土交通省の河川工事に従事してまいりました。今回、杭瀬川若森築堤工事で初めて現場代理人として現場に携わる事となり、責任の重さと使命感の中で、日々遣り甲斐のある現場施工に取り組んでいます。

私が従事した工事



平成24年度 木曾川松倉災害復旧工事
（木曾川上流河川事務所）



平成24年度 長良川上坂手河道整備工事
（木曾川下流河川事務所）

工事概要の説明



現在施工しております杭瀬川は、洪水対策の一環として堤防の補強工事を行っている地域であります。過去には洪水により周辺地域が浸水する被害も起きました。そういった災害を未然に防ぎ地域住民の皆様が安心して生活が送れるように、私達は洪水に強い堤防を造る為、杭瀬川左岸8.4k+73.3mより約300m上流へ、堤防断面を拡幅し堤防天端の嵩上による堤防補強工事を行っています。

建設業の魅力

私が思う建設業の魅力とは、人と人が協力し何もない所に大きな構造物が出来あがる事により、その構造物が壊れることなく何十年も人の役に立っている、そしてその構造物を造りあげるのに自分自身が携わっていたと云う満足感と達成感だと思います。工事現場では我々や作業員の方々だけでなく、地域の方々と一緒に協力しながら大きな構造物を造りあげて行きます。大型の重機が動き、様々な職種の方々が自分達の仕事を全うし、時には起こる問題も皆と協力し解決しながら造りあげていき、出来あがった時に共に味わえる達成感、言葉には言い表せない喜びに繋がって行きます。自分自身で経験しないと分からない事かもしれませんが、それが私にとっての建設業の魅力だと思います。

仕事への意気込み

小さい頃から物を作る事に興味があり、何かと材料を集めては組立て遊んでいた幼少期に、近所の工事現場で日々出来あがる構造物を毎日見に行き憧れを抱いていた私が、その憧れる工事現場の監督として仕事に従事している事に誇りを持ち、これからも多くの工事を担当し地域の皆様に喜んで頂ける、そんな構造物を造りあげて行きたいと思っております。

まだまだ自分なりに経験不足で日々の業務に追われ大変ですが、一つ一つの経験を自分の財産にして社会に貢献できる技術者を目指して努力して行きますので、どうか宜しくお願いします。

この4月より新卒者が弊社に就職します。まだまだ自分なりに経験不足で日々の業務に追われ大変ですが、先輩・後輩達と共に力を合わせて、社会に貢献できる技術者を目指し努力して行きますので、どうか宜しくお願いします。